

第1分科会 第2班 討議内容

大学全入時代を迎え入学生の質が変化し、学生の学習意欲の低下が顕在化する中で、当班においては、不登校学生の早期把握と退学者を減らすための取り組みとして、学生カルテの導入を検討中、あるいは導入初期段階の大学が多数を占めることから、学生カルテに関する討議が中心となった。

学生カルテについて議論する過程で、個人情報保護と利便性の観点から、情報種別をどう分類整理し何処までの情報を共有すべきか。またどの範囲（部署）で共有・公開すべきか。など設計方針を決めかねていることや、導入はしたものの学内の特定部署だけの利用にとどまり、学生支援ツールとして活用するまでに至っていない。教員が積極的に活用できる仕組みが提供できていない。など運用の改善が必要との多数の意見が出た。

そこで当班では、学生カルテを活用すること自体は目的ではなく手段であって、費用対効果に見合うメリットが見出せるのかとの根本的観点から、まずは導入目的の明確化とデータ化することの付加価値の整理を行った。

さらに必要となるデータを分類・精査、アクセス権限を整理することで、各教職員が自部署において必要となる情報に簡単且つ安全にアクセスできる環境を構築した上で教職員の情報共有を促進させ、関連部署が一体となり学生を支援できる体制を整えることが重要であるとの結論に至った。またシステムの構造を工夫するだけでは解決し得ない、人的リソースや情報漏洩リスクなどの課題と解決方法についてもまとめ発表を行った。

時間が足りずeポートフォリオに関してはあまり議論されなかったが、学生カルテは退学者を出さないための教職員による底上げ対策であり、発表の最後に締めくくりでもある学生自らの行動を促進させるためには、学生が主体的に活用できるシステムとしてのeポートフォリオの導入も今後の検討課題であると感じた。

以上

第2班 メンバー（参加者名簿順）

獨協大学 安食 秀典氏
白百合女子大学 見留 香氏
東海大学 大山 由加里氏
東京都市大学 和田 直之氏
京都外国語大学 寺田 信子氏
京都産業大学 岡 和寛氏
西南学院大学 今村 満弘氏
株式会社ニッセイコム 小寺 亮氏

第2班 役割分担

座長：和田 直之氏（東京都市大学）

発表：岡 和寛氏（京都産業大学） 発表補佐：小寺 亮氏（株式会社ニッセイコム）
書記：小寺 亮氏（株式会社ニッセイコム） 書記補佐：今村 満弘氏（西南学院大学）